

企業・団体名（株式会社飯田ボイラー）

(様式第3号)

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】飯田市の環境マネジメント資格を取得する			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】HP等で環境情報を公開する。													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】太陽光発電等の設置検討を行う。								7.2					13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・コピー用紙の両面印刷、裏紙使用、再生紙の購入を行っている。												12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範の整備と教育を行い 社内浸透を図っている															16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範の整備と教育を行い 社内浸透を図っている															16			
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・【予定】社内で知的財産の保護に関する研修会の実施								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を 整備している ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している															16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・【予定】社内で紛争鉱物に関する研修会の実施															16			
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	・元請業者と一緒に、ビジネス上の社会責任について協議し て共有している。						5		8	10	12	13	14	15	16	17			
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・施工マニュアルに則った施工を行い製品・サービスの安全 性を確保している。		3.9											12.4					
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・段階検査・引渡し前検査を行い確実な品質のサービスの提 供を行い、密なアフターサービスを行っている。									9									
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・設計段階、顧客の商品選定段階に省エネルギー製品の使用 を提案している。						6						12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・環境保全条例に適合した施工を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
32 社会貢献・ 地域貢献・	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・飯田市の水道・下水道の緊急対応を行い。休日・夜間も緊急修理工事ができる体制としている。					4					9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域行事に極めて参加している。又、寄付の依頼も可能な限り対応している。				4								11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・【予定】使用可能であれば地域の資材の優先的利用を促進する									8	9		11	12	13					
35 組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している								8	9									17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・経営トップが会議等でコンプライアンスの重要性を社員に説明している。																		16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・【予定】責任者（担当役員）、CSR管理者を任命して体制・仕組みを構築する																		16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・お客様の意見を伺い、何を要望されているか理解し、極力ご要望に添えるよう努力している。																		16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・【予定】リスクアセスメントを行い、PDCAサイクルにて改善を行う																		16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・法令順守に基づいた施工、アフターサービスにより水資源保全に取り組んでいる。																		16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画（BCP）の策定、定期的な訓練を実施する								9		11		13	13.1					16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・【予定】様々な事例を検討し、事業継承に対する検討を行っていく。							8	9										17	

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
飯田市上下水指定工事店として、緊急修理時に適切な対応を行い、お客様に満足して頂く。	連絡体制の構築による速やかな修理の実施																	

#### 【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
  - 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）